

理研会報

発行 成田理研会
事務局 成田市成田950
成田小学校内

新年に際して

研究部 板橋 義 主人

新年の御挨拶には時期はずれかも知れませんが、昨年中本会報に寄せられました御厚情に感謝申し上げますと共に本年も又相変わらずよくしくお願いしたいと存じます。

次に私ごとになってしまいますが、現在沼々井中の校長である橋本先生が香取の指導主事さんをおさつておられる頃友人に持つてきた箱の苗が相手が列車に乗らなかつたため私のところに天下つてしまった。

叱られるかも知れませんが折角中括弧で育てた苗木を捨てるわけにもいかず持ち帰ったが、それからが大変、二、三日放つておくとたちまち変形してくる。こんなひま人のすることはもととやる気がなかつたが、毎朝状況報告を命儀なくされ遂々まごとな花が咲いてしまった。それがもとで今では菊仲間から苗木の新品種が届けたりして止めるに止められず鉢数をふやしたりしております。

とは申すもの時々現われる研究部の諸兄だけは、葉がどうの葉がどうのと誰一人はめていただけないことを申し添えておきますがともあれ昔から食わず嫌ひということがあるが、一番理科の嫌ひな先生が子供をどんな理科好き

全国教研で話し合われ

たこと 佐倉中 浪貴博 孝

「理研会報」十一号に指導研の概要として、指導技術を論ずる方向と、教材そのものを論ずる方向の二面が主な内容であったと報告したが、引き続き全国教研で何が問題とされたかを報告します。

理科分科会は、伊勢近郊に成田玉成中学校を会場として、オ一日全体会、オ二日分科会、オ三、四日全体会を持つた。討論は主としてオ二日、三日に集中され、最終日は今後の研究の方向が話し合われた。

順序は逆に、最終日に打ち出された今後の研究の方向として、物理では「力と運動」の中で運動の保存性について教えるが、その前段階として速度概念と加速度

概念をきちんと身につけさせる教科記列と指導法の研究が望まれた。また、エネルギー概念は全分野に関連して把握させるべきであるが特に物理教材はエネルギーを物質とその運動との関係でとらえさせるうえに重要であることが指摘された。

このテーマを小学校段階におおした場合は、まず「物質とは何か」をつかませる指導が必要であろう。これはすでに確認されているが、物質は必ず重さを持つ。物質は必ず体積を持つという二面がばらばらに指導され、極端な場合同量同量に任せられておられる点が問題とされている。特に物がなぜ空間を占めるかという指導はオ十六次全国教研で福富県から報告されたユニークなものであったが指導体系は完成されたものではなかつた。

この点は物質が粒子の集合として階層的な構造をもっていること、粒子の熱運動によつて空間を占有するという内容を含んで、従つて「密度の指導をどうするか」というテーマは大事であろう。

又一方「物質の三態変化」「気体の膨張と圧力」をどのような順序で教えるかという点も見逃せない。また物質の「粒子性と熱運動」を軸にした場合、液体における溶質の拡散・浸透といふ教材をどう指導するかが問題となる。

今回、葉巻の小学校代表からは紙玉をつぶすのが扱われた。指導は指導で、紙玉を潰す方向が提案された。(又号に続く)

一部会理研修会開かる。例年行われている理研修会は去る二月十四日、会場を八生小学校に移して行われました。三学期の終わりに加え、降雪の直後という悪条件に、参加者こそ少ない会でしたが会場校の熱意と会員の研究心とで多大の成果を修めた会でした。

ここに会長として参加された八生小の山崎光代先生の、研修会に参加しての感想をのせ、会のよろすをお知らせします。

明日へのファイトを感じて
公津川 山崎 光代

何年ぶりの大雪にゆつと試慮とバスにゆられ、まだ白一色にのつたまわっている会場校、八生小学校に着く。参加者も小教とあつて若いを肩掛り身にしみた。しかし授業が始まると同様にこの寒さもふきとんでしまった。暖かいストローを噛んでの授業であったが、たばかりではない。本時の目標に全力をかけたむけてとらしくておられる先生方。活気あふれた学習活動の低学年。落ちついた思入態度の高学年。どのクラスも明るく計画的に整えられた教室のすばらしさ。病欠の一手担任のピンチヒッターとして立てられた教頭先生。分科会での話し合いにつつこんだ質問をなされ、教員資料も暖房とともに研究されるといふ校長先生。この全校あげてのまじまりと意気を感じたからだ。

研究会は、いつもむずかしいテーマと、それに伴う主任の説明な

どに終えることが多いが、この会のように、この教材をいかに指導するか、が私にとって大切なのだ。雪と連休のため資料を持たずに参加した、とは言いがれにすぎないであらう私の態度に反省した。とにかく校内に同じこもりがちな三学期に授業そのものの成果もさることながら同じような条件の地域に働く一人として、とり残されぬよう明日からの仕事におおいにファイトを与えて下さつた八生小学校の先生方はじめ関係の先生方に感謝したい。

風信

。二月十六日理研会研究部理事会、(会館)教研報告について、研究部のあり方。会報の内容等について。

。二部会理研会研究部では、去年十二月に行つたオ一回施設設備の巡回相互視察の報告書を配布した。

編集後記

。一月におくばりする予定でしたが、会報すつかりおくれましてしまいました。

。全国教研報告を中心に、二部会研究会の報告をのせました。

。次号は「春をむかへる学校園」について沢尻先生にお話しします。

。現場でのなやみなどありましたらふんふで考えたいと思ひます。御投稿をおまちします。

。次号は三月中旬に発行する予定です。